

フランス語(French)

担当教員名	宮内 達夫	
学科・専攻, 科目詳細	都市システム工学科 4年 通年 2単位 講義	
学科のカリキュラム表	一般科目 選択科目	
共生システム工学の科目構成表	教養科目 外国語系	
学習・教育目標	共生システム工学	A-2(20%) B-1(50%) B-2(30%)
	JABEE基準1(1)	(a)(f)
科目の概要	フランス語によるコミュニケーションの基礎を学習する。フランス語のしくみ、いわゆる文法には約束事がたくさんあり、綴りと発音の関係、名詞の性に関する規則、動詞の活用など、一見複雑そうであるが、ある程度習熟すると、突然視野が広がってくるものであり、少ない語彙でかなり高度なコミュニケーションも可能となる。自己紹介の仕方、時候の挨拶など日常会話の基礎的な表現を学習しながら、「聞き、話し、読み、書く」の4技能のバランスのとれた修得を目指す。	
テキスト(参考文献)	藤田祐二／『パスカル・オ・ジャポン』／白水社	
履修上の注意	外国語の学習には、学習者が本来持っているコミュニケーション能力と想像力を最大限に駆使することが大切であるため、授業への積極的な参加が必要である。また、予習より復習に時間を割いて欲しいと考えている。	
科目の達成目標	近年のグローバル化の流れの中で、多言語主義、多文化主義的観点がますます重要になってきている。国際化によって世界が一様になるのではなく、種々雑多な文化の共存が必要となる。異文化の学習の最良の方法は、言語の学習であるという観点から、フランス語の学習を通して、多文化・多言語共存社会への対応に慣れていくようにする。(B-1, B-2)	
自己学習	目標を達成するためには、授業以外で必ず予習を行い授業に備えること。授業後の復習も怠らないこと。また、課題や小テストに備えて、与えられたテーマに取り組むこと。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/4以上の欠課
	定期試験(70%), 出席状況(20%), また授業時に随時行う小テスト(10%)を総合して評価する。 定期試験は筆記試験となり、文法事項理解度、語彙表現の習熟の程度などを確かめる。また、聞き取りや、発音、簡単なフランス語の口頭でのやりとりなどは、平常の授業時に随時小テストを行ってチェックする。	
連絡先		

授業の計画・内容	
第1週	ガイダンス：授業の進め方
第2週	フランスとフランス語に関する一般的な説明 テーマについて学習する
第3週	国籍を言う テーマについて学習する
第4週	名前・職業を言う テーマについて学習する
第5週	フランス語の発音と綴り字の読み方 テーマについて学習する
第6週	持ち物を尋ねる テーマについて学習する
第7週	趣味を語る テーマについて学習する
第8週	既習内容の復習 テーマについて学習する
第9週	フランス文化の紹介（パリの歴史的建造物／語彙：祈願の表現） テーマについて学習する
第10週	誰かを尋ねる テーマについて学習する
第11週	したいことを尋ねる テーマについて学習する
第12週	住んでいる所を言う テーマについて学習する
第13週	何をしているか尋ねる テーマについて学習する
第14週	フランス文化の紹介（パリの公園と通り／語彙：身体の部位） テーマについて学習する
第15週	総復習・試験準備
期末試験	

授業の計画・内容	
第16週	前期学習事項の復習，後期学習へ向けてのウォームアップ テーマについて学習する
第17週	家族を語る テーマについて学習する
第18週	年齢を言う テーマについて学習する
第19週	時刻を言う テーマについて学習する
第20週	フランス文化の紹介（語彙：パリの鉄道の駅／色） テーマについて学習する
第21週	紹介する テーマについて学習する
第22週	準備日常生活の表現 テーマについて学習する
第23週	既修事項の復習 テーマについて学習する
第24週	量を表す テーマについて学習する
第25週	天候を言う テーマについて学習する
第26週	フランス文化の紹介（語彙：フランスのワイン／曜日） テーマについて学習する
第27週	比較する テーマについて学習する
第28週	過去のことを語る テーマについて学習する
第29週	未来のことを語る テーマについて学習する
第30週	フランス文化の紹介（ジェスチャー／語彙：曜日） 総復習・試験準備
期末試験	